

4. 社会指標及び意識調査からみえる府内地域別の少子化の現状と課題

京都府内市区町村の「2008年～2012年の合計特殊出生率」「有配偶率」「社会移動率」また少子化と関連があると考えられる「人口・世帯・居住環境」「学習環境」「就労環境」「地域」「出産・結婚」に関する社会指標、及び「京都府民意識調査」の結果から、府内各地域の少子化の現状と課題として考えられる主なことは次のとおり。

<京都市>

(1) 結婚・出産

- ・ 合計特殊出生率・有配偶率ともに、すべての区で全国平均よりも低い。
- ・ 結婚を希望する状況は、男性では「経済的に余裕ができる」、女性では「希望の条件を満たす相手にめぐり会う」「経済的に余裕ができる」「精神的に余裕ができる」ことがあげられている。
- ・ 子どもを持つ場合の条件として、男性は「雇用が安定すること」「教育にお金がかからないこと」、女性は「教育にお金がかからないこと」「健康上の問題がないこと」が多くあげられている。
- ・ 子育て支援サービス充実の希望は、男女とも「子どもを遊ばせる場や機会の提供」と「一時預かりの実施」が多い。また、女性では「病児保育・病後児保育サービスの実施」も3番目に多くあげられている。

(2) 社会移動

- ・ 社会移動の状況としては、全人口では、11区中、上京区、中京区、下京区、右京区の4区が転入超過であり、特に下京区は、人口流入率が府内第2位と高い。他の7区は転出超過である。
- ・ 過去5年間の移動状況を年代別にみると、京都市は20代前半ではいずれの区でも転入超過であり、大学入学等による転入が多いが、20代後半では、下京区、南区を除いて転出超過に反転。30代前半の結婚・出産・子育て年代では、11区すべてで転出超過になっている。
- ・ 京都市在住者の定住意向は他の府内の地域と比べて弱いわけではないが、男性では山科区・南区、女性では下京区・南区で定住意向が弱い。定住意向のない者の移動希望理由は、男女とも「住宅事情」が最も多い。住宅費の満足度は他の府内地域と比べて、それほど低くはないが、住居の広さの満足度は男女とも府内で最も低い。

<丹後地域：宮津市・京丹後市・伊根町・与謝野町>

(1) 結婚・出産

- ・ 合計特殊出生率・有配偶率ともに、いずれの市町も全国平均よりも高い。
- ・ 未婚者の結婚意向は男女とも強い。結婚を希望する状況としては、男性では「交際相手と知り合う機会」「経済的な余裕」、女性では「精神的な余裕」が、それぞれ多くあげられている。未婚男性は、結婚支援として「出会いの場・婚活イベント」を希望する割合が高い。
- ・ 今後、子どもを持つ場合の条件として、男女とも「教育」「保育」にお金がかか

らないことが多くあげられている。また、女性は、「配偶者の家事・育児の協力が得られる」「職場に働きながら子育てができる制度がある」が多くあげられている。

- ・ 在住者の子育て支援サービス充実の希望は、男女とも、「子どもを遊ばせる場や機会の提供」と「一時預かりの実施」が多い。

(2) 社会移動

- ・ 社会移動の状況としては、全人口では転入・転出がプラスマイナスゼロだった伊根町を除き、宮津市、京丹後市、与謝野町は転出超過となっている。
- ・ 過去5年間の移動状況を年代別にみると、高校卒業・大学入学等による転出等が多い20代前半で、いずれの市町も転出超過だが、大学卒業・就職・転職等を経る20代後半で転入超過に転じ、結婚・出産・子育て年代の30代前半でも、おおむね転入超過である。
- ・ 定住意向は、他の府内の地域と比べて男女とも強めである。
- ・ 定住意向のない人の移動希望理由としては、男性で「通勤通学の便」と「近所との付き合いなど人間関係」がやや多い。

<中丹地域：福知山市・舞鶴市・綾部市>

(1) 結婚・出産

- ・ 合計特殊出生率・有配偶率ともに、3市とも全国平均よりも高い。
- ・ 未婚者が結婚を希望する状況として、男性では「交際相手と知り合う機会」「経済的な余裕」が、女性では「希望の条件を満たす相手にめぐり会う」が、それぞれ多くあげられている。未婚男性は、結婚支援として「出会いの場・婚活イベント」を希望する割合が高い。
- ・ 今後、子どもを持つ場合の条件として、男性は「雇用の安定」が多い。男女とも「教育にお金がかかりすぎることも、多くあげられている。女性では、「配偶者の家事・育児の協力が得られる」が多くあげられている。
- ・ 在住者の子育て支援サービス充実の希望は、男女とも「子どもを遊ばせる場や機会の提供」と「一時預かりの実施」が多い。特に、福知山市で「一時預かり」の希望が、男女とも多い。

(2) 社会移動

- ・ 社会移動の状況としては、全人口では、福知山市が転入超過、舞鶴市と綾部市が転出超過である。
- ・ 過去5年間の移動状況を年代別にみると、高校卒業・大学入学等による転出が多い20代前半でいずれの市も転出超過だが、大学卒業・就職・転職等を経る20代後半で転入超過に転じ、結婚・出産・子育て年代の30代前半でもおおむね転入超過である。
- ・ 定住意向は、京都府男女全体の平均と同程度である。定住意向のない人の移動希望理由としては、男性で「住宅事情」と「転勤」が多い。住宅費と住居の広さの満足度が、府内の他地域と比べて低めの水準にある。

＜南丹地域：亀岡市・南丹市・京丹波町＞

（１）結婚・出産

- ・ 京丹波町では、合計特殊出生率・有配偶率ともに、全国平均をわずかに上回っているものの、亀岡市・南丹市は全国平均をやや下回っている。
- ・ 未婚者が結婚を希望する状況として、男性では「経済的な余裕」、女性では「子どもが欲しくなる」ことが、それぞれ多くあげられている。
- ・ 今後、子どもを持つ場合の条件として、男性は「結婚すること」と「雇用の安定」が多い。女性では、「教育」「保育」にお金がかからないことが、それぞれ多くあげられている。
- ・ 在住者の子育て支援サービス充実の希望としては、男女とも「子どもを遊ばせる場や機会の提供」が多い。また、女性では「一時預かりの実施」も多い。

（２）社会移動

- ・ 社会移動の状況としては、全人口では3市町とも転出超過であり、特に京丹波町で減少率が高い。
- ・ 過去5年間の移動状況を年代別にみると、高校卒業・大学入学等による転出が多い20代前半で、亀岡市・京丹波町が転出超過であるが、南丹市では転入超過である。大学卒業・就職・転職等を経る20代後半で、3市町とも転出超過となる。結婚・出産・子育て年代の30代前半では、京丹波町でわずかに転入超過となるが、亀岡市と南丹市では転出超過である。
- ・ 定住意向は、男性は京都府男女全体の平均と同程度であるが、女性の定住意向が弱い。定住意向のない人の移動希望理由としては、男女とも「通勤通学の便」が多い。

＜乙訓地域：向日市・長岡京市・大山崎町＞

（１）結婚・出産

- ・ 3市町とも有配偶率は全国平均を上回っているが合計特殊出生率は全国平均をやや下回っている。
- ・ 今後、子どもを持つ場合の条件として男性は「雇用の安定」が多い。女性では、「配偶者の家事・育児の協力が得られる」「健康上の問題がない」「保育サービスが整うこと」があげられている。
- ・ 在住者の子育て支援サービス充実の希望としては、男女とも「子どもを遊ばせる場や機会の提供」「一時預かりの実施」が多い。

（２）社会移動

- ・ 社会移動の状況としては、全人口では3市町とも転出超過である。
- ・ 過去5年間の移動状況を年代別にみると、向日市は20代では転出超過だが、30代前半で転入超過となる。長岡京市では、20代から30代前半で転入超過である。大山崎町では、20代前半で転出超過だが、20代後半・30代前半で転入超過である。
- ・ 定住意向は、他の地域と比べても強めの水準である。
- ・ 移動希望理由としては、「住宅事情」が、男女とも多くあげられている。住宅費と住居の広さへの満足度は、他の地域と比べて女性で、やや低めの水準である。

＜学研地域：京田辺市・木津川市・精華町＞

（１）結婚・出産

- ・ 木津川市では、合計特殊出生率、有配偶率ともに全国平均を上回っている。
- ・ 京田辺市はいずれも全国平均を下回っている。
- ・ 精華町は、合計特殊出生率は全国平均を下回るものの、有配偶率は全国平均を上回り、府内第3位と高い。
- ・ 未婚男性では、結婚を希望する状況として「経済的な余裕」が最も多く、未婚女性では「希望の条件を満たす相手にめぐり会う」ことがあげられている。
- ・ 今後、子どもを持つ場合の条件として、男女ともに「教育にお金がかからないこと」が、最も多くあげられている。
- ・ 在住者の子育て支援サービス充実の希望は、男女とも「子どもを遊ばせる場や機会の提供」「一時預かりの実施」が多い。

（２）社会移動

- ・ 社会移動の状況としては、全人口では3市町とも転入超過である。
- ・ 過去5年間の移動状況を年代別にみると、京田辺市は20代前半で転入超過、20代後半で転出超過だが、30代前半で再び転入超過となる。木津川市と精華町では、20代前半で転出超過だが、20代後半、30代前半で転入超過となっている。
- ・ 定住意向は男女とも強い。
- ・ 住居費・住居の広さの満足度は高い。

＜相楽東部地域：笠置町・和束町・南山城村＞

（１）結婚・出産

- ・ 3町村とも、合計特殊出生率、有配偶率ともに全国平均を下回る。
- ・ 女性の結婚意向が高い。
- ・ 未婚者が結婚を希望する状況として、男女とも「経済的な余裕」が最も多い。
- ・ 今後、子どもを持つ場合の条件として、男女ともに「結婚すること」が最も多くあげられている。
- ・ 子育て支援サービス充実の希望としては、男女とも「子どもを遊ばせる場や機会の提供」が多い。男性では「育児の不安や悩みの相談窓口」、女性では「一時預かりの実施」への希望も、それぞれ多い。

（２）社会移動

- ・ 社会移動の状況としては、全人口では笠置町と南山城村では転出超過である。和束町は、転入・転出がプラスマイナスゼロである。
- ・ 過去5年間の移動状況を年代別にみると、3町村とも20代から30代前半で転出超過である。
- ・ 定住意向は、男性では京都府男女全体の平均と同程度だが、女性で弱い。定住意向のない人の移動希望理由としては、「通勤通学の便」が男女とも際立って多い。

＜山城北地域：宇治市・城陽市・八幡市・久御山町・井手町・宇治田原町＞

（１）結婚・出産

- ・ 宇治市、八幡市、宇治田原町では有配偶率が全国平均を上回っているものの、合計特殊出生率が全国平均を下回っている。
- ・ 久御山町は合計特殊出生率が全国平均を上回っているが、有配偶率は下回っている。
- ・ 城陽市、井手町は、合計特殊出生率・有配偶率ともに全国平均を下回っている。
- ・ 未婚者が結婚を希望する状況として、男性では「経済的な余裕」が最も多い。女性は「希望の条件を満たす相手にめぐり会う」「子どもが欲しくなる」が、多くあげられている。
- ・ 今後、子どもを持つ場合の条件として、男性では「雇用の安定」が最も多い。また、男女とも、「教育にあまりお金がかからないこと」が上位にあげられている。女性では、「健康上の問題がないこと」も多い。
- ・ 子育て支援サービス充実の希望は、男女とも「子どもを遊ばせる場や機会の提供」が多い。女性では「一時預かりの実施」への希望も多い。

（２）社会移動

- ・ 社会移動の状況としては、全人口ではいずれの市町も転出超過である。
- ・ 過去５年間の移動状況を年代別にみると、宇治市、久御山町では20代前半では転入超過だが、20代後半・30代前半で転出超過である。八幡市では20代前半から30代前半で転入超過である。城陽市、井手町では20代前半から30代前半で転出超過である。宇治田原町は20代で転出超過だが、30代前半で転入超過である。
- ・ 結婚・出産・子育て年代で転入超過なのは、八幡市と宇治田原町のみである。
- ・ 定住意向は、男性では京都府男女全体の平均と同程度だが、女性で弱めである。定住意向のない人の移動希望理由としては、「住宅事情」と「通勤通学の便」が男女とも多い。

